

国民の皆様方への緊急メッセージ:「歩み出そう!脱温暖化社会へ」

平成 16 年 8 月 13 日

中央環境審議会地球環境部会長 浅野直人

「地球温暖化」問題は、はるか未来に起こる話でも、どこか遠い国で起こる話ではなく、私達に降りかかりつつある現実の問題です。この美しい地球を次の世代に引き継いでいくためには、行政、産業界、家庭など全ての国民の皆様が、我々の置かれている現状への危機感を共有し、社会経済システムやライフスタイル・ワークスタイルを見直していかなければなりません。

今こそ脱温暖化社会に向けて、ともに歩み出そうではありませんか。

異常気象が世界的に頻発

2002 年末から 2003 年 1 月にかけて、インド北部を中心に寒波に見舞われ、周辺諸国を含め 1,900 人以上が死亡しました。2003 年の夏、欧州では熱波に襲われ、フランスでは約 15,000 名が死亡したとされています。本年も日本をはじめ世界各国で熱波や豪雨などの異常気象が発生しています。地球温暖化が進むことによって、このような異常気象が大規模・高頻度で発生し甚大な被害をもたらすと予測されています。

2100 年には、最悪の場合 5.8 気温が上昇

産業革命以降、人間は石炭・石油などの化石燃料を大量に燃やして使うことで、大量の二酸化炭素を排出したため、大気中の二酸化炭素濃度が増え続け、それに伴い気温もどんどん上がっています。20 世紀の 100 年間に地球の平均気温は 0.6 上昇しました。2100 年には、私たちがどのような経済社会の発展のあり方を選ぶかによって幅がありますが、1.4~5.8 気温が上がり、海面が 9~88 cm 上昇すると予測されています。

地球温暖化がもたらす深刻な影響

地球温暖化が進むと、洪水や熱波などの異常気象、干ばつの増大、マラリアなどの感染症の拡大、穀物生産量の減少、水資源への悪影響など、人類や環境に極めて深刻な影響が及ぶと予測されており、このままでは人類は「存亡の危機」に直面するおそれがあります。

私たち人間が原因。私たち人間が止められる温暖化

残念ながら、既に地球温暖化は現実であり、その進行を完全には阻止することはできません。しかし、その進行を緩やかにし、温度上昇を 2 程度に抑えたり、被害を少なくする事は可能です。それは、我々の選択にかかっているのです。温暖化によって生じる様々な影響を少しでも防ぐために、行政も企業も更に一層の対策をとることが必要です。そして、私たち一人ひとりも、持続可能な社会を次の世代に引き継ぐために、今すぐに行動することが必要です。「冷房温度を 1 高く設定する」「車を控え、バスや自転車を利用する」「買い物袋を持ち歩く」などすぐできることはたくさんあります。家電製品、マイカー、住宅の購入の際は、地球温暖化を防ぐ取組に参加する絶好のチャンスです。省エネ製品の購入を是非ご家族でご検討ください。今だけのこと、自分だけのことを考えて行動するのではなく、未来のこと、地球のことを考えて行動してみませんか。地球温暖化の進行を少しでも食い止めるため、国民の皆様が具体的な取組を実施していただくことを心からお願い申し上げます。

(一人ひとりができる身近な温暖化対策や省エネ家電等に関する製品情報は、「環のくらしホームページ <http://www.wanokurashi.ne.jp>」、「全国センター・ホームページ <http://www.jccca.org>」をごらんください。)